

弘化三丙午年
諸國人數調略 ○ 中
御料私領
一人數拾四万三千五百人

高九万五千七百三拾六石餘
安房國

内 七万七千七百七拾六人
女男

風俗

〔人國記〕安房國

安房之國ノ風俗ハ、人之氣尖成事、譬バ刃ノ如ク、和スルコト寡フシテ、常ノ作法モ、カタクヘナリ、唯人ハ男女トモニ死スル事ヲ手柄トノミ覺テ、假初ノ付合ニモ、タガイニ齒ヲ拔キ、一向之思案ニテ、大形萬事思案工夫分別スル事不成也、其内ニモ氣質之稟ル事、能ク生付タル人モマ、有此國人ハ言葉溶^{ユル}卑劣ナレドモ、根源ニ正キ所ヲ生得タル上ニ、道理ヲ分別シタル故、一旦ハ尖ニ見ユルトイヘドモ、武士ハ武士之上ニ備ル程之器トナリ、農工商トモニ皆是ニ準ヘ而可、知然ドモ如斯之人ハ多ク無之而、唯氣質ニツナガレ、漸ク理非ヲ少辨フル人ノミ有サ有ルニ付テ、カリ染ニ執行フ事モ、我が生得之氣ニ任セテ執行フ故ニ、手強ク而墮落ナル事稀ナリ、學者ト云人モ今不見バ、其風流ニ隨テ、自然ト勤ルモノナリ、

名所

〔日本鹿子七〕同國房 ○ 安 名所之部

野島ケ崎 近江國また淡路にも同名あり、當國野島ケ崎は、小湊といふ所を云、

東路の野島ケ崎の濱風にわがひもゆひしいもがかほのみ

當國は小國ゆへにや、名所すくなし、舊記にも不見、

雜載

〔延喜式〕兵部 十八 諸國健兒 略 ○ 中 安房國卅人 略 ○ 中

諸國器仗 略 ○ 中 安房國 征箭十二具、胡藤十二具、

〔續日本紀〕九 武 神龜元年三月庚申、定諸流配遠近之程、略 ○ 中 安房 略 ○ 中 爲遠、

〔續日本紀〕三十四 光仁 寶龜七年七月己亥、令造安房上總、下總、常陸四國、船五十隻、置陸奥國、以備不虞、